



南越前町

議会だより

2020.8

Vol.32



朝早くから行われる梅の収穫作業（河野）

Contents

- ②-③ 議長・副議長就任あいさつ・議会の構成
- ④-⑤ 6月定例会報告・常任委員会報告
- ⑥-⑦ 代表質問・一般質問
- ⑧ 7月臨時議会報告
- ⑨ 主な議会活動報告
- ⑩ 議会のしくみ紹介
- ⑪ 町合併20年に向けて
- ⑫ あなたの出番です・編集後記



完熟を待つ「黄金の梅[®]」



議長就任あいさつ

秋田 重敏

盛夏の候、町民の皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は、町政並びに町議会に対しましてご理解・ご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

この度、6月8日の定例会におきまして、議長に選任され就任することになりました。身に余る光栄であると同時に、その責務の重さを痛感しているところでございます。

議長として公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりる所存でございますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、南越前町におきまして、少子高齢化、人口減少対策など諸課題が山積している中、本年は「新型コロナウイルス感染症」の世界的な拡散により、日本国内をはじめとして福井県内においても多くの感染者が発生し、地域住民の生活や経済活動への影響は、多大なものがあります。

現在の感染症の第1波については、緊急事態宣言も解除され徐々に落ち着きを取り戻しつつありますが、今後、発生が危惧される第2波、第3波に対して万全の対策に努めていかなければならないと考えています。

議会としては、感染症対策をはじめとした諸課題に対し、執行機関と協働して、町民が安心して生活できる町を目指して、誠心誠意努めてまいりる所存であります。

今後も町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長就任あいさつ

平谷 弘子

この度、6月8日の定例会におきまして、議員各位のご推挙により副議長に就任させていただくことになりました。

誠に光栄で身の引き締まる思いであります。

議会運営にあたりましては、議長を補佐しながら、町民の安全で安心して生活できる町を目指して、そして誰もが住みたくなる町となるよう、全力を傾注して職務を全うしてまいりたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

今後とも議員並びに町民の皆さまの温かいご指導ご支援をお願い申し上げます。副議長就任のごあいさつとさせていただきます。

令和2年度 南越前町議会構成

常任委員会

	委員長	副委員長	委員
総務文教常任委員会	平泉 初男	高橋 宏介	城野 庄一 喜村喜代治 秋田 重敏 生駒 一義 山本 優
産建厚生常任委員会	熊谷 良彦	山本 徹郎	大浦 和博 加藤 伊平 井上 利治 平谷 弘子 丸岡 武司
	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会	丸岡 武司	喜村喜代治	山本 徹郎 熊谷 良彦 平泉 初男 生駒 一義

特別委員会

	委員長	副委員長	委員
議会広報	山本 優	大浦 和博	山本 徹郎 熊谷 良彦 平泉 初男 平谷 弘子
原子力対策	大浦 和博	山本 徹郎	全議員
新幹線対策	加藤 伊平	喜村喜代治	
自然・環境対策	城野 庄一	高橋 宏介	
監査委員	井上 利治		

○原子力対策（原子力安全対策特別委員会）

…敦賀原子力発電所1号機、2号機等、原子力による被害を被らないよう取り組む。

○新幹線対策（新幹線・在来線対策特別委員会）

…北陸新幹線開業に向け、JRの在来線の在り方について他自治体と共に取り組む。

○自然・環境対策（自然保護並びに環境保全対策特別委員会）

…町内において風力発電計画の事前調査を踏まえ、生物多様性の保全と生態系の特性に応じた対策や希少生物・野生鳥獣の保護及び町民の生活に大きな不安を与えると思われる環境問題に取り組む。

広域組合議会議員

各組合議会	議員名	関係市町
南越消防組合議会	熊谷 良彦・喜村喜代治・秋田 重敏 山本 優	越前市・南越前町 池田町
南越清掃組合議会	大浦 和博・秋田 重敏・生駒 一義 丸岡 武司	
福井県丹南広域組合議会	高橋 宏介・秋田 重敏・平谷 弘子	越前市・南越前町 池田町・鯖江市・越前町
公立丹南病院組合議会	山本 徹郎・城野 庄一・平谷 弘子	
後期高齢者医療広域連合議会	秋田 重敏	全県市町

6月定例会

6月定例会は、6月8日から12日までの5日間の日程で開催されました。

開議後、提出された議長・副議長の辞職願を認め、欠員となつた議長・副議長

長の選挙を行い、議長に秋田重敏氏、副議長に平谷弘子氏を選任しました。

また、各常任委員、議会運営委員の任期満了による選出、及び特別委員会委員を選出、引き続き委員会を開催して各正副委員長を互選しました。併せて広域組合議会などの議員選出も行いました。



コロナ対策でマスク姿の本会議場の様子

新たな議会構成により審議が続けられ、29議案が上程されました。

主な内容は

令和元年度及び令和2年度の補正予算や南越前町税条例等の一部改正の専決処分の承認を求める5議案及び、令和2年度補正予算、条例の一部改正について提案があり審議しました。

人事に関しては監査委員、農業委員会委員の任命について同意を求める提案がありました。

8日の本会議では、専決処分の5議案を承認、工事請負契約の締結にかかる2議案を全会一致で可決しました。また、一般会計補正予算や条例の

一部改正等10議案を関係する各常任委員会に付託し、審議しました。

代表、一般質問について

代表質問については、事前の全員協議会においてコロナ関連の質問をまとめて代表し質問することとしました。

一般質問は、質疑の時間を通常45分としています。今回は20分までと短縮するため、今回は20分までとし人数も3人程度としましたが、結果、質問者は1名のみとなりました。

委員会に付託された議案審査は

委員会審査は、10日に総務文教常任委員会、11日に、産建厚生常任委員会を開催し、議案や関係事項を審議しました。

最終日には各常任委員会の報告と質疑が行われ、採決を行い、提案された一般会計及び特別会計補正予算など5議案及び条例の一部改正など5議案を原案のとおり可決しました。

詳細は、各報告ページを参照ください。



平泉産建厚生常任委員長報告

農業委員の選任同意について

任期満了に伴う町農業委員会委員の選任同意の提案については、慣例により質疑討論を省略し採決を行い、全員の選任同意を決めました。選任された方々は、川崎藤次氏（西大道）、西川勝一氏（上平吹）、桂慶一郎氏（上牧谷）、岩寄和実氏（金粕）、植村功吉氏（中小屋）、朝倉勇二氏（社会）、石山清孝氏（馬上免）、田嶋秀夫氏（下新道）、小不動勝史氏（合波）、惣次健一氏（赤萩）の10人です。

各常任委員会報告

コロナ対策に関する予算、条例
など審議

▼総務文教常任委員会

(6月10日 開催)

当委員会に付託された議案第51号令和2年度一般会計補正予算第3号のうち本委員会に関わる事項ほか議案第56号南越前町印鑑条例及び町手数料徴収条例の一部改正など所管ごとに審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

採決にあたって特に意見はありませんでした
が補正予算、
条例改正など
質疑を通じて
明確になった
点の概要を報
告します。

補正予算

は、新型コロナウイルス感染症対策の交付金の増額、追加事業として小中学校の空調設備の充実、スクールバス等の車内で子供たちが



非接触型体温計

密にならないようバス増便の費用、一方、各種行事の中止による費用の減額などです。

また、条例の改正は、マイナンバー「通知カード」が廃止され、再交付が行えなくなったこと等に伴う手数料(条例)等の改正です。

予算、条例の改正とは直接関連はありませんが、災害時の避難所における簡易ベッドの活用や入所時の非接触型体温計について、休校による学習時間不足の対策などコロナ関連の質問が多数ありましたことを併せて報告いたします。

▼産建厚生常任委員会

(6月11日 開催)

当委員会に審査を付託された議案の審議の経過を報告致します。議案第51号令和2年度一般会計補正予算など本委員会に関わる9議案について、所管ごとに審査し、いずれも原案のとおり可決しました。審査事項は多岐に亘っており、その一部をご紹介します。

子供医療費助成事業補助金の増

額、子どもさんふくいきプロジェクト事業による在宅育児応援手当補助金の増額、高

齢者が安全安心して自動車を運転できるようドライブレコーダーを後付け設置した場合に対象補助経費の半分を補助する高齢者運転支援事業補助金、子供たちの熱中症リスクを軽減するための児童館・保育所等空調設備整備事業(子育て支援を目的にいただいた寄付金の事業)などです。

今回は特に新型コロナウイルス感染症対策について活発な議論が交わされました。

マスク購入費助成事業、感染症防止除菌事業、避難所感染防止対策はもちろん飲食業者の経営の維持及び家庭調理の軽減を図るため町内飲食店業者が一定額の昼食夕食用の弁当を半額で販売した場合に補助金を交付する飲食店活性化



好評だった山海里応援弁当

事業や中小企業休業等要請協力負担金などです。その中でも、学校や福祉施設等におけるきめ細かい感染症対策を行うため衛生上の重要度が高い水道蛇口の自動化を中心とする公共施設の水道施設の諸機器の交換等については価格の精査を図り、事業の実施に当たっては、適正価格で実施するようにとの意見がありました。



手洗いなど徹底した感染防止策の指導(南条小にて)



生駒 一義

新型コロナウイルス対策について

中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、四か月余りで、全世界で700万人に迫る感染者が出て、死者も40万人余りが出ています。

当町でも一名の感染がありました。他に感染拡大することなく安どしていますが、油断はできないのでこの「ウイルス対策」について議会を代表して質問します。

問 災害時における備蓄品の確保、避難体制など対策は。

答 町長 町内に20ヶ所の指定避難所があり、約9500人収容出来る。

コロナウイルス感染拡大防止のため3密にしない場合は、受け入れ人数は半数以下となる。

避難体制は、保健師等を常駐さ

せ検温、問診を行い、健康観察を実施する。感染拡大の恐れがある方は隔離するなどの対応を行い、トイレ、洗面所も分ける。備蓄品の確保は、避難所の間仕切り設備、体温計、衛生用品などを整備する。

問 複合災害における地域医療体制の確保、その他医療機関等の連携体制は。

答 町長 災害時の感染拡大時の診療体制として、電話、オンライン診療体制の強化を図る。

問 児童用マスク、消毒アルコールなど町内で製造できないか。

答 町長 必要に応じて町内の事業者と協議、調整し有事に備えた資材確保を検討する。

問 3密を避ける勤務のリモート体制の整備については。

答 町長 現在、今庄事務所にサテライトオフィスを開設し、職員の分散勤務を実施、また課長会議ではタブレット端末を貸与し、遠隔会議、

災害発生時には、

オンラインで伝えるツールとして活用に努める。

問 事業の延期、施設の休館措置中だが、再開についての見通しと指示についての考えは。

答 町長 乳幼児に関することなど心配ごと相談や訪問を行っている。

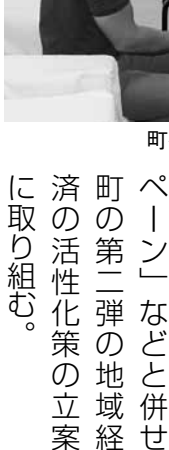
延期の健診は、七月中実施予定。開催予定で中止とした各種イベントは、次年度以降、安全な体制を構築していく。公共施設は6月1日から再開し、

安全対策について利用者の理解を求め、取り組んでいる。その他の施設はフロント、接客時の感染予防に努めている。

問 国県の要請に基づき休業した観光事業者の活性化を図る施策は。

答 町長 国が7月以降実施の二次補正事業「1000キャンペーン」などと併せ町の第二弾の地域経済の活性化策の立案に取り組む。

町へ消毒液の寄贈



問 三か月近く休校された。この為の学習の遅れ、校内での3密を防ぐ対策は。

答 町長 コロナの発生が学年の終わりに近かったことから、小学六年、中学三年はほぼ課程が終了していたので大きな問題はないが、他は最大で30時間程度不足している学年もある。新年度に

入り県で作成した学習動画とYouTube、ケーブルTVの配信、DVDを配布するなどし、担任が動画の進度に合せ課題を与え、家庭学習の把握に努めた。

また、健康面を確認し3月の5教科の未修内容を分散登校時の学習時間に少しずつ確保するように努めた。

6月1日から学校再開、学校に慣れる事を優先し通常の授業ができるよう配慮した。学校ICT等を活用し授業の効率化を図る。



南条小学校コロナ対策

夏季休業期間は8月8日～8月18日まで、冬季休業期間については、今後の状況をみて判断する。

校内の3密対策は、文科省の指針にもとづき机の配置を広げ、窓も間隔を置いて開け換気に配慮している。

トイレ、手洗いは床に印を付け一定の間隔を空ける。給食も間隔を空け配膳、前向きで会話を控えて食事、更衣室等で密にならないよう体操服で過ごしている。

問 今後、コロナウイルスが拡大し、休校措置がなされた場合、タブレットを活用したICTでの学習の取り組みは。

答 町長 校内ではタブレットを使った学習を行っているが自宅での学習までは至っていない。

今後はICT環境整備計画に基づき校内ネットワーク整備に着手し、国の助成で一人一台のタブレット端末を整備の予定。

意見 今回のコロナ禍は各界各層に大きな打撃を与えました。

一日も早いコロナ感染症に対するワクチンと治療薬が開発され元の生活に戻るようお願いを終わります。

一般質問



山本 優

第二期町子ども・子育て支援事業計画について

問 今年3月に「第二期南越前町子ども・子育て支援事業計画」で健全な子どもを育てる大切な施策が示されました。しかし「少子化」に対する施策はあまり見えません。晩婚、非婚の影響が「合計特殊出生率」にも表れています。5年前は1.45で

したが、昨年は1.36と4年連続の低下となり、更に少子化は進む恐れがあります。

同計画では、出産、育児、教育など子育て環境の整備が中心で、より緊急の課題

である結婚支援に対する計画は見えません。結婚に夢と希望の持てる環境を作り、若者の出会いの場を作る事で、自然に男女の交流ができ、家族、友人、地域からも祝福される結婚へと進むことを願っています。

本計画の具体的な施策についてお聞きします。

答 町長 ご指摘のとおり、人口減少、少子化への対策として子育て支援と共に結婚対策は重要と考え、今回の計画の中で、結婚に関しては、若者出会い交流、結婚相談、結婚定住促進事業の三項目をあげています。結婚相談は、婦人福祉協議会が中心に取り組み、昨年は2件の結婚成立がありました。過去にはテレビ番組で婚活



イベントもありましたが、町単独での実施は難しいところで、このような中、今年4月に県と市町が協力してふくい結婚応援協議会※が立ち上げられ、今年秋には人工知能(AI)を活用したマッチン

グシステムを構築する事となっています。今年12月頃には利用者の登録が始まります。積極的な参加を働きかけるとともに、県と市町共同での婚活イベントも来年以降予定されており、町内の独身者の結婚の機会拡大に努めていきます。

意見 更に具体的な内容については次に回し、意見として、かつては、文化やスポーツなどで男女の触れ合う場が多くあり、それが結婚へと繋がっていました。今は人との関係は希薄となり、さらにコロナで行事も中止や延期となり、出会いの場は少なく、更に地域の事は地域で解決しようとする気運も薄れています。

学校と社会が協調すべき課題だと思えます。今後、国・県の支援策や地域の意見も参考に計画、実行に移されることを期待し、次の定例会でさらに議論を進めたいと思えます。

※「結婚応援協議会」詳細説明、9ページに記載

7月臨時議会報告

(7月21日)

「新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金」

関係議案を中心に審議

国は、新型コロナウイルス感染症に対する様々な対応・取組みを支援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充し、第1次補正で1兆円、第2次補正で2兆円を計上しました。

当町への配分として、第1次補正で約1億円、第2次補正で約2億9千万円の内示がありました。特に第2次補正では、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに実施する、家賃支援を含む事業継続や雇用維持等、並びに「新しい生活様式」等に対応するための事業に充当されます。町では、住民の皆



さんの暮らしを守るため、国の臨時交付金活用事例集を参考しながら、今後実施計画を作成していきます。

具体的な内容は

令和2年度一般会計補正予算や国民健康保険今庄診療所特別会計、河野診療所特別会計、今庄老人保健施設特別会計補正予算の4議案が上程され、全会一致で可決しました。

補正予算の内容としては、オンライン会議及びテレワークシステム導入やタブレット端末の購入、非常用持ち出し袋や衛生用品の配布、また小規模事業者応援給付金事業や宿泊客誘客促進事業があり、教育関係では小中学校に整備するタブレット端末の購入、教育ネットワーク



テレワークや自宅での学習に活躍するタブレット端末

高速大容量化事業回線接続料、除菌作業委託料などです。

各診療所では、クリーンパーティション・空間除菌消臭装置、ポータブルX線撮影装置の購入、今庄老人保健施設では面会用Webシ

わが町の

特産品紹介

〈河野〉

「黄金の梅」[®]

海近くまで山が迫る河野は、田畑にする土地が少なく海を望む山を切り開き、梅栽培を行ってきました。

これは、「新平太夫」という品種で、収量も多く、美味しい梅ですが、形が楕円で機械での選果がしにくいいため、青梅での出荷が敬遠されてきました。6月下旬から7月にかけて、樹上で完熟させ、自然に落下したものを傷が付かないよう、防草シートを敷き、さらにネットで丁寧に収穫しています。

余談ですが今年は、町広報紙によると「地域おこし協力隊」が収穫作業に協力し「ネット張り」の応援を

STEM導入などがあります。

また、南条SA周辺地域振興施設公園改修工事にかかる工事請負契約の締結に関する1議案についても全会一致で可決しました。

行ったとのこと。出荷前には生産者による「目揃い会」を行いサイズ、熟成、形など統一した検品で認められた秀品のみを「黄金の梅」のブランドで出荷しています。出荷できるのは、全体の2割程度という貴重品です。

この梅を使った商品は「黄金の梅」ジャム「はちみつ」「味噌」「マーマレード」「バームクーヘン」などがあります。アンズのような甘い香りを楽しんで下さい。(10年余り栽培している濱野好巳さんのお話)



「黄金の梅」を使った商品

南越前町議会の 主な活動報告

●6月3日 ほのぼの苑理事会
が南条保健福祉センターで開催さ
れ、議長が出席

●6月8日～12日 6
月定例会が開催され、
補正予算、条例改正な
ど審議し可決

●6月11日 南条SA
周辺地域振興施設安全
祈願祭が開催され、議
長他13名が出席

●6月29日 原水爆禁止国民平和



激励式で議長よりメッセージを伝達

大行進激励式が南越前町役場で開
催され、議長が出席

●7月1日 「第70回社会を明る
くする運動」推進にかかる総理大
臣からのメッセージ
伝達式が役場で開催
され、議長が出席



南条SA振興施設の安全祈願祭

●7月3日 福井県
町村議会議長会臨時
総会が池田町役場で
開催され、議長が出
席

●7月10日 福井県町村議長会広
報研修会が自治会館で開催され、
議会広報特別委員5名が出席

●7月21日 7月臨時議会が開催
され、補正予算など審議し可決

●全員協議会

5月21日、6月26日、7月21日

●議会運営委員会

6月1日、6月9日、6月26日

●広報特別委員会報告

6月12日 第一回広報委員会
6月19日 寺下元議長取材
河野梅収穫、写真取材

7月6日 西嶋元議長取材

7月10日 第二回広報委員会

7月13日 南条小写真取材

7月14日 炊の会写真取材

6月～7月 編集・校正作業

7月27日 第三回広報委員会

8月7日 「議会だより」発行



「議会だより」編集中の第三回広報委員会

「9月定例会」のお知らせ

次の定例会は9月11日～18日の
予定です。本会議の傍聴にお越し
ください。詳細な日程は、ケーブ
ルTVなどでご確認ください。

「福井県結婚応援協議会」

「ふくい婚活カフェ」 とは？

(福井県の婚活応援サイト)

県が進める、婚活応援の行政
サービスで、婚活のイベント情
報や、結婚ふくいキャンペーン、
結婚相談所、地域の縁結びさん、
結婚応援企業、グループ交流、
縁結びパワースポットなど婚活
について真剣に考える当事者、
親、友人などが気軽に情報やア
ドバイスを得られる結婚を応援
する場です。

また、今年4月に立ち上げた
「結婚応援協議会」は県と市町が
協力して婚活をサポートするた
めのマッチングシステムでスマ
ホやパソコンで登録し、AIを
活用して登
録者の性
格の良い人
をお奨めす
るものです。



議会の制度・運営は



議会の役割

仕組み

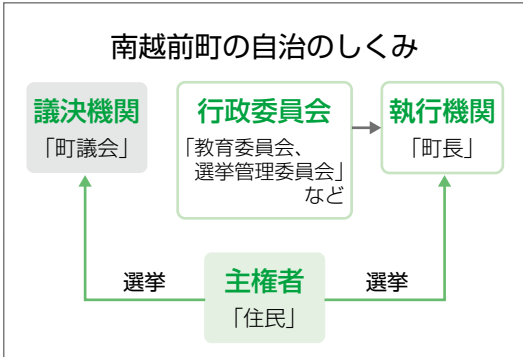
用語

の紹介

地方議会の運営は、議員全員で開かれる定例会が年4回、3月、6月、9月、12月に開かれ、その他、必要に合わせて全員協議会、常任委員会、特別委員会などが開催され、町行政の課題について審議し結論を出します。

当町では二つの常任委員会があり議員はどこの委員会に所属する事となっています。

また審議する課題によっては、より専門的に調査、審議するための特別委員会を設置します。議会活動は、常に住民の目線で、町政に目配りすることです。
新聞報道や本会議の傍聴などで活動の一端を目にすることも



あると思いますが、議会の役割、仕組み、議場で使われる用語などを紹介いたします。
今回は、議会として最終決定を行う本会議で主に使われる用語について紹介します。

一、「審議」と「審査」

よく似た言葉で「審議」「審査」がありますが違いは、まず「審議」は本会議で、議題について町長など提案者の説明を聞き、質疑、討論し、評決する一連の過程の事を言います。同じようにに議案を委員会などに付託して行う場合は「審査」といいます。
なお、議案の提案者は町長をトップとする理事者の他に議員による提案もあります。

二、「表決」と「採決」

まず「表決」は議員が提案に対して賛成か反対かの意思を表明する事で、議長から見ると議員の表決を取ることを「採決」といいます。採決の方法は挙手、起立、議案にたいして異議がないかを聞く「簡易表決」などがあり、その決定することを議決といえます。当町の議会では起立による採決が主で、議論のないものは簡易表決で行っています。

三、議決の表現もいろいろ

予算、条例、契約、決議などは可決（否決）、決算などは認定（不認定）、人事案件は同意（不同意）、意見、請願などは採択（不採択）、諮問については意義のない旨の同意（不同意）などです。
表現はいろいろですが、議会としての意思決定の表現の仕方です。一般の生活では使うことは少ない言葉ですが、議会の言葉として関心を持っていただけたら幸いです。

このページは、これからも下表

を参考に安心のあるものをシリーズで取り上げ、議会活動を身近なものと感じていただけるよう取り組んでいきたいと考えていますのでよろしくお願いたします。

議会定例会の傍聴も「□□」対策の3密を避けながら、お越しいただきたいと思っております。

また、ご質問やご意見など取り上げてほしいことがありましたら、本庁及び各事務所の「御意見箱」までお願いします。

6月議会定例会で決定された議会構成は3ページ記載の通りです。議長はじめ各委員会の構成、委員長、広域組合議会議員なども記載してあります。ご参照ください。

《今後の予定について》

R2.10 県、市町など地方自治とは

R3.1 常任委員会と特別委員会の役割について

R3.4 広域組合議会の役割について

その他、議会活動について、取り上げてほしいテーマがありましたらご連絡をお願いします。

初代議長

寺下 貢さんに聞く

南越前町も、あと4年で合併から20年となります。議会としてもさらに30年、40年に向けて、町の課題解決にその役割は大きくなります。

初代議長として合併協議や、合併後の議会運営にあたられた寺下さんに当時のご苦労などお話を聞かせいただきました。



南越前町発足式 (H17.4)

が、郡内三町村での合併を前提に検討は進められた。しかし武生との合併を求める意見も根強くあり、民意を諮る必要があると首長は考え、合併に関し住民投票を行った。結果3分の2が郡内合併となった。民意を諮ったことで結果、地域をまとめることが出来た。

合併協議会でも多くの課題が検討された。旧町村の財政、住民意識、産業など地域性があり擦合せに大変苦労があり、議員同士の話も行われ、議会として調整にあたり、経験豊富な先輩議員の協力で乗り越えられたと思う。

問一 合併時の課題と解決策

国主導で進められた行政の効率化の合併は、全国的に進み当町でもその趣旨に沿って行われた。範囲は、郡内の三町村の案と一部が武生市に合併する案があった

問二 36名の議会の運営は

合併時に、町長選挙は行われたが、議員は全員残ることとなり、36名の議会の運営は多くの



最初の広報委員会

課題があった。各地区それぞれ議会としての歴史と慣例がありその調整に戸惑った。

本会議場も手狭でやむなく会議室を使つての定例会となった。

そのため、会場が狭く一般の傍聴は無く開かれた。

問三 県、全国議長会について

この年、県町村議会議長会長を受ける事となり、更に全国議長会の役員にもなり、大変忙しく年間に10数回東京出張があった。

問四 議会の広報活動について

合併後の議会広報発行について議論が行われ、全体に消極的な意見が多かったが、広報委員を三地区から三名ずつ選出し、委員長に副議長を指名した。フルカラーの16頁で計5回発行したが、改選後は休止となり残念であった。

問五 視察研修については

日本原電敦賀発電所の3、



取材中の寺下さん(左)

動を進めた。

問六 心に残る議会の思い出

合併後最初の議長として各地域に歴史が有り、議員も個性が強く一つの町としてまとまって意見要望を理事者に伝える事に苦労したが今では良い思い出となっている。

まだまだお聞きしたいところですが紙面の関係でここまでといたします。今後も益々のご活躍を祈念いたします。(6月19日河野にて) 次回も歴代議長さんに思い出を語っていただく予定です。よろしくお願いたします。

4号機の建設計画が進められていた事も原子力関係の先進地の視察を何回か実施した。また、三地区を結ぶホノケ山トンネルは合併の特別要望であると同時に原発事故の避難路として大事な道路で強く要請活

待ってました!! あなたの出番です!



今回は河野の若者グループ
「炊かしきの会」の皆さんに

お聞きしました

江戸中期から明治にかけて大阪と北海道を結ぶ日本海廻りで活躍した北前船の船内で料理を担当した人を炊かしきと言います。

私たちは、河野地区で旅館、民宿など厨房に立つ若手の5人で、四季折々の旬の食材を北前船にちなんだ料理にアレンジし、特別料理「河野北前膳」を提供するための活動する仲間です。

5人の仲間を紹介します。中央



が会長の南一平で、左から宗戸貴久、宮本浩司、会長を飛ばし、清水謙一、青木洋平です。地元じもとの若者が地元じもとに

対して愛着を感じ、何か活力を見出せるような動きが出来ないかという事を考え、毎回変わった「おしながき」を提示しています。

会は、2016年6月に発足し、丸4年が経過しました。新たな5年目の活動を展開するにあたり、原点に返り、皆様のご意見を広くいただきながら「河野を印象付ける料理」や「日本遺産の北前船主集落をアピールする料理」そして、ご来場くださいました皆さまから「喜ばれる料



7月14日「昼膳」の魚料理の一部とデザート

理」を目指していきたくいと決意を新たに

出港したところでございます。必ず平穏な日々が戻ってくることを確信し、皆様

とを確信し、皆様は、笑顔と安らぎが戻ってくることを祈っています。収束した際、少しでも皆様に満足

のいくおもてなし料理が提供できるよう日々精進していきま

す。北前船の運んできた歴史と文化の灯を、これから先も永遠に灯し続けていきたいと思っておりますので、皆様方の温かいご支援賜りますようお願い申し上げます。

「河野北前膳」提供については

各月昼、夜1回完全予約制で開催してありますが、好評で9月までは予約が満席とのことでした。

〈連絡先〉河野観光協会

☎48-2240

編集後記

▼町議会における各委員会は、通常2年で交代しています。

しかし県内でも新型コロナウイルスが発生し、会議の自粛が求められ前期委員会からの引継ぎが遅れたため、短時間での編集作業となり、十分ではありませんが無事発行できほっとしています。

今後も、皆様のご協力で適宜、町の話題を盛り込み、楽しく読みやすい紙面作りを目指します。ですのでよろしく願っています。

▼取材は、初代の寺下議長、「河野梅」、「炊かしきの会」と河野地区中心となりました。

今回は今庄または南条地区を中心に取材したいと思っておりますので地域で活躍するグループや特産品などご紹介をお願いします。

▼今回は、定例会から翌々月の発行となりましたが、次回からは、翌月末には発行できるように努力したいと考えています。

(山本)